

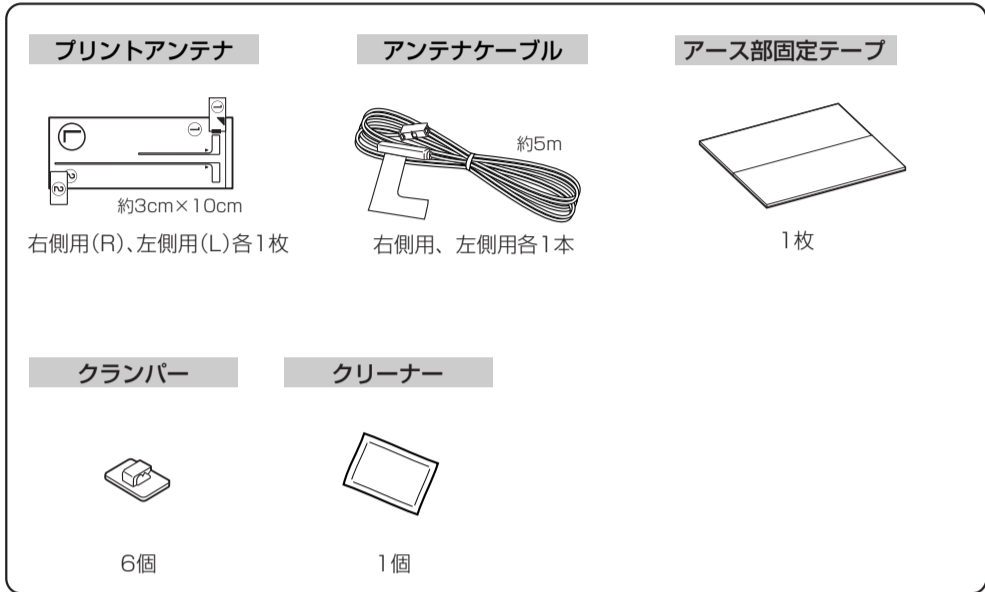
KNA-DT13

取付説明書

株式会社 ケンウッド Kenwood Corporation
© PRINTED IN JAPAN B54-4565-00/00

お買い上げいただきまことにありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この取付説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは後々のため、保証書と共に大切に保管してください。

構成部品



※上記記載の“m”はおおよその長さを表わしています。

取り付けや接続、その他不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意

ご使用および取付の前にこの取付説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意 △記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

禁止 ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

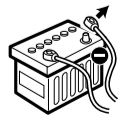
実施 ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

警告

禁止 24V 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12Vアース車専用です。



実施 配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施 本製品の配線は必ず、取付説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



注意 貼付許容範囲内に取り付けてください。国土交通省の定める保安基準に適合する位置・寸法(貼付許容範囲内)に貼り付けしないと、道路交通法違反となります。貼付許容範囲については、「貼付位置について」をご覧ください。

禁止 本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



主な仕様

品名	地上デジタルTVチューナー用 プリントアンテナ
電源電圧	DC8V
消費電流	35mA以下
アンプ利得	10~13dB
周波数範囲	470~770MHz
受信チャンネル	UHF(13ch~62ch)
出力インピーダンス	75Ω
エレメント寸法	約30mm × 100mm
質量	約100g (片側)

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

●商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133
FAX 045-933-5553
住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山11-16-2
受付時間 月曜~金曜 9:30~18:00
土曜 9:30~12:00、13:00~17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

●修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。

2RR6P12A40300

注意 プリントアンテナは、はがれないようにしっかり取り付けてください。取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて、事故やけがの原因となります。時々点検してください。

実施 修理は必ず〈お買い上げの販売店〉にご相談ください。

実施 本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ・ヘッドランプ・ウィンカー・ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

実施 低温時は、プリントアンテナの性質上、接着力が低下しますので、取り付け時は車内を常温に暖めてから作業を行なってください。

実施 本製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご相談ください。

実施 事故防止のため、電池やネジなどの小物は幼児の手の届かぬところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁止 本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

実施 本製品または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。

禁止 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

実施 万一〈異物が入った・水がかかった・煙りが出る・変な匂いがするなど〉異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず〈お買い上げの販売店〉にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

禁止 本製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

地上デジタルTV用プリントアンテナについて

貼り付ける前に

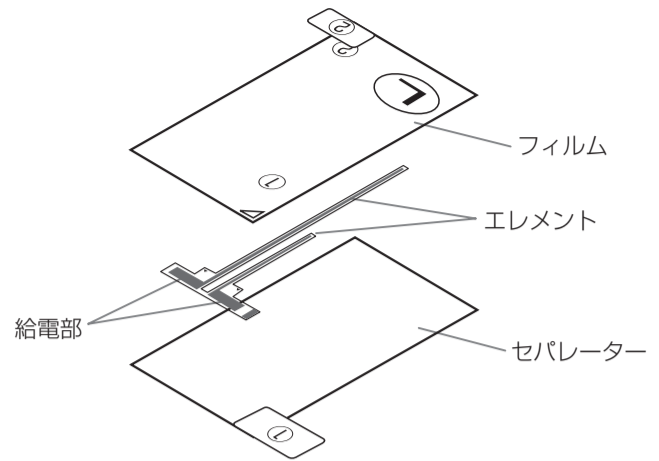
- 貼り付け・配線をするためには、フロントウィンドウ周りの内装を一時的にとりはずす必要があります。
 - 取付説明は左側で示してあります。右側のアンテナも左側と同様に取り付けてください。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
 - 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
 - ピラーにフロントエアバッグを搭載している車には、取り付けることができません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
 - 車検適合させるために、下記「貼付許容範囲について」および本書の取付方法をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断され不合格になります。
 - 本商品はフロントウィンドウ専用です。それ以外の場所（リアウィンドウなど）に貼り付けると、受信感度が低下します。
- 水などでダッシュボードを汚さないように、布やシートなどでおおってください。
- アンテナの表面保護用ビニールをはがしたあと、アンテナ貼付面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し粘着力が弱くなります。

必ずケーブルおよびプリントアンテナを仮止めし、ケーブルの引き回し等を十分に検討してから貼り付けてください。一度貼り付けると、貼りなおしできません。

貼付位置について 〈車内から見た図〉

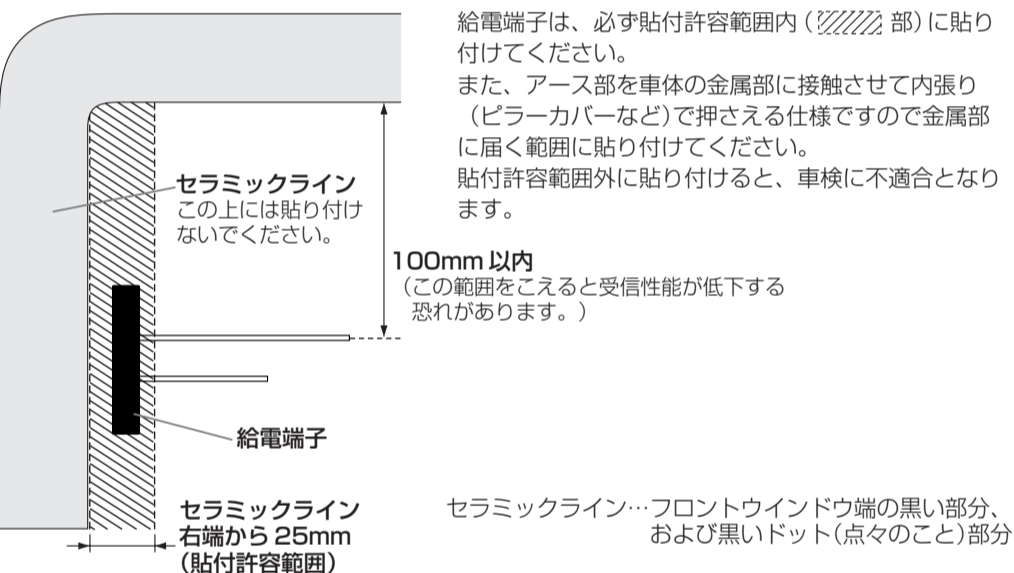
- 車検適合させるため、また、性能を十分に発揮させるために、必ず下記の位置に貼り付けてください。
- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、下図のとおり貼り付けてください。
- 他のアンテナを取り付けている場合、妨害を防ぐため、他のアンテナから本機を100mm～150mm程度（右図参照）離して貼り付けてください。

プリントアンテナの構成

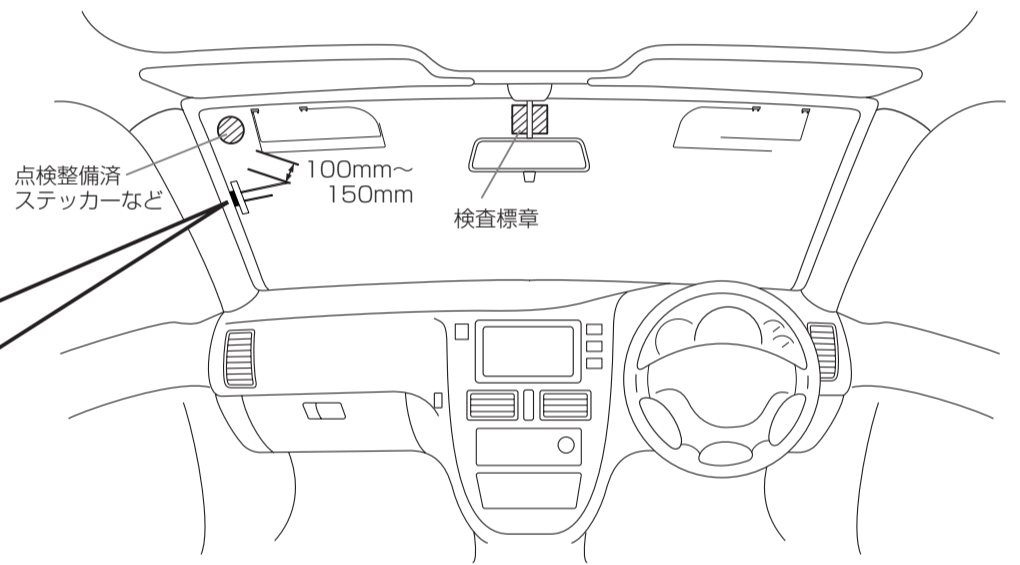


フィルムとセパレーターの間にエレメントが挟まれています。エレメントの広い部分が給電部です。

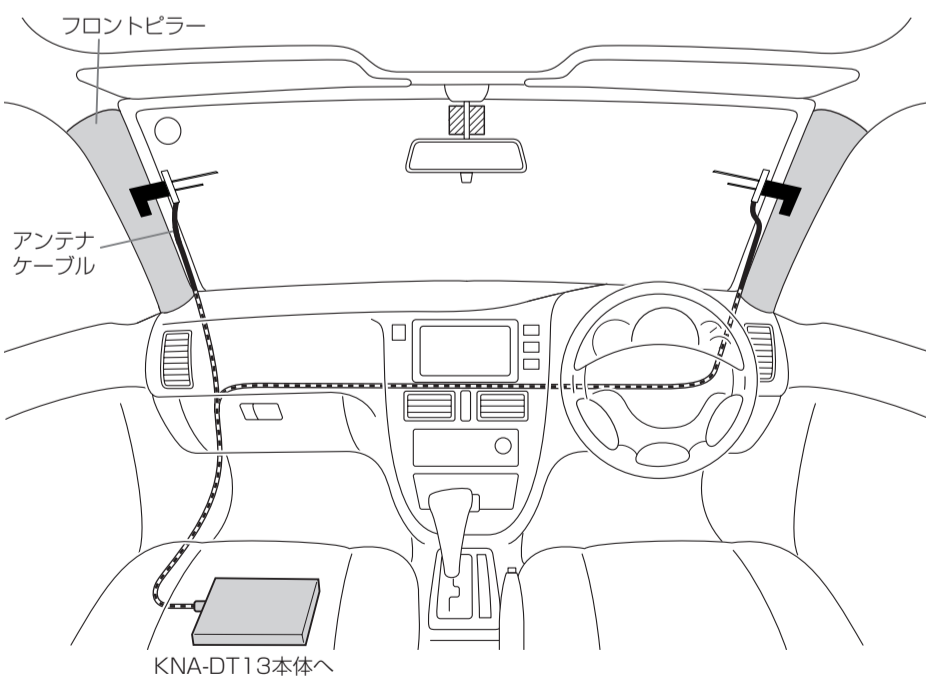
貼付許容範囲について



- プリントアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けてください。
- プリントアンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けしないでください。
- フロントウィンドウに、すでに他のプリントタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。（指定の位置・寸法内に取り付けられない場合があります。）



取り付け完成概略図 〈車内から見た図〉



取り扱い上の注意点

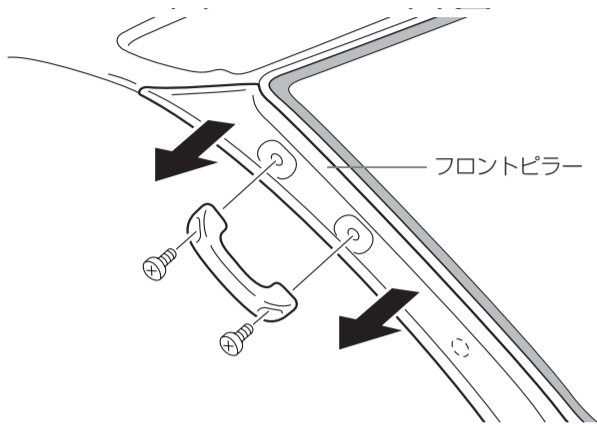
- プリントアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- はくり紙やフィルムをはがした後は、貼り付け面に手をふれないでください。プリントアンテナの透明シート、電源ボックスの固定シート、ケーブルクランプのはくり紙をはがした後は手をふれないでください。また、長時間の放置はしないでください。
- プリントアンテナのフィルムや給電端子のはくり紙をはがした後は、給電部などに手をふれないでください。静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。
- 貼り付けたあと、ガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカーはがし剤を使わないでください。破損の原因となります。

地上デジタルTV用プリントアンテナを貼り付ける手順〈車内から見た図〉

1 内張りを取り外す

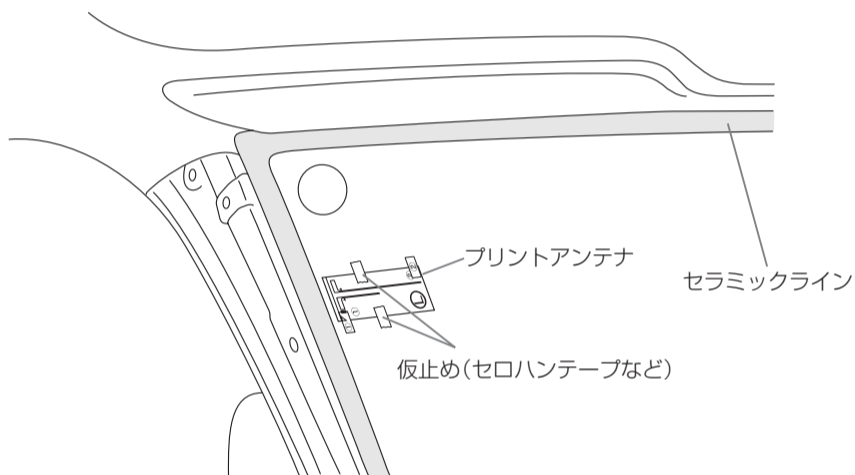
(1) フロントウィンドウ横のフロントピラー(左)を取り外す。

- フロントピラーは、クリップや、ネジ等で固定されており、無理に外すと破損したり変形することがあります。
- お客様自身が取り付けをされる際に、フロントピラーの取り外し作業が困難な場合は、本機または車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。(作業工賃はお客様にご負担いただく場合があります。)

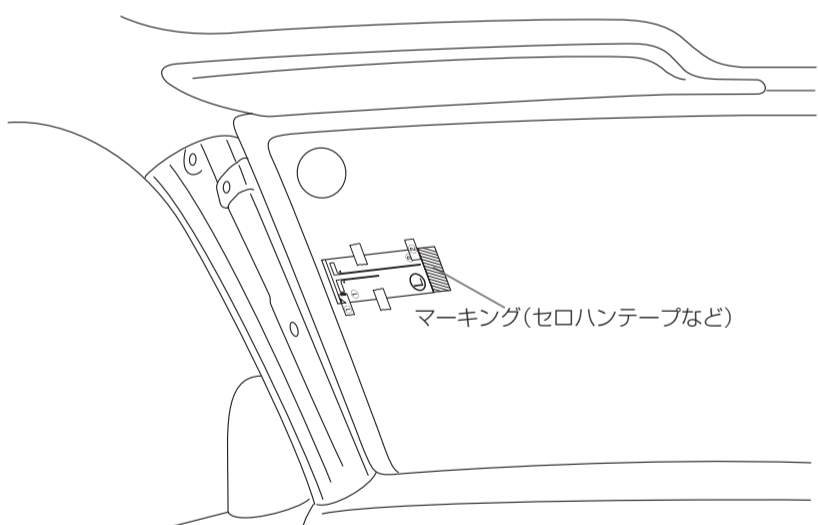


2 「貼付位置について」(表面参照)をよく読んで貼り付け位置を決める

(1) セロハンテープで仮止めする。



(2) プrintアンテナの左右位置を、セロハンテープなどでマーキングする。



3 エlementを貼り付ける

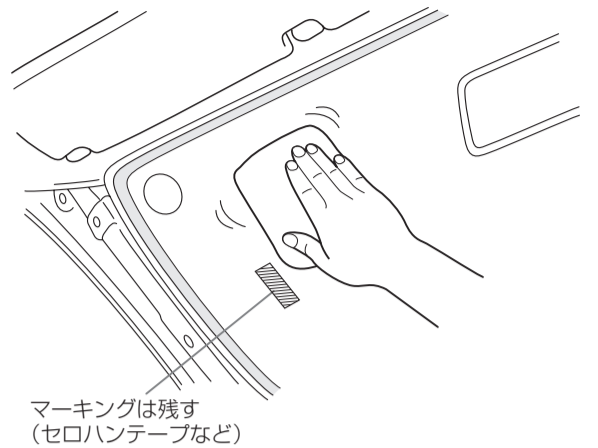
※マーキングは残して、仮止めしたプリントアンテナを取り外してから行ってください。

Element貼り付けについてご注意

- 給電部横にある幅2mm程度の■はElementの移行を補助するためであり、この部分の裏面にはのりが付いていません。そのためElementがフロントウィンドウに移行後も浮いて見えることがあります。また、この部分がフィルムをはがすときにフィルムに残ったままになることがあります。これは給電部と■の境目を故意に弱くしているため(移行の際の失敗を防ぐため)です。異常ではありません。
- Elementのはくり紙は、Elementののりの強さとフィルムののりの強さでバランスをとっていますが、Elementが細いためまれに移行がうまくいかないことがあります。その場合はあせらず、一度元の状態に戻し、強くこすり付けてからやり直してください。
- Element貼り付け直後(3時間以上)は貼り付けたElementにガラスクリーナー等を吹きかけたり、Elementの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、Element上を直接拭くときは時間にかかわらず、柔らかい布等を使用し、Elementに傷が付かないよう注意してください。

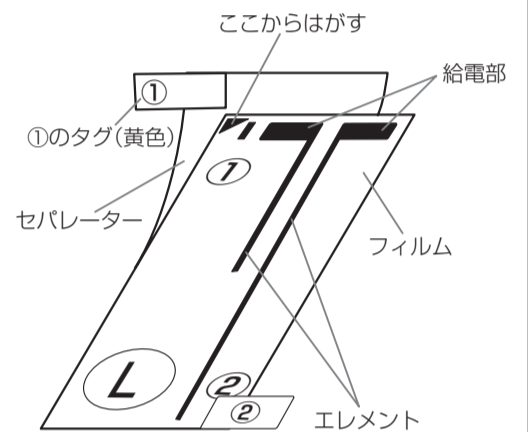
(1) フロントウィンドウの汚れ(ゴミ・油など)やくもり止めを付属のクリーナーで拭き取る。

- クリーナーはきれいに拭き取りフロントウィンドウは乾いた状態にしてください。
- ※フロントウィンドウが乾かない場合は貼り付けないでください。Elementがフロントウィンドウに貼り付かなくなります。



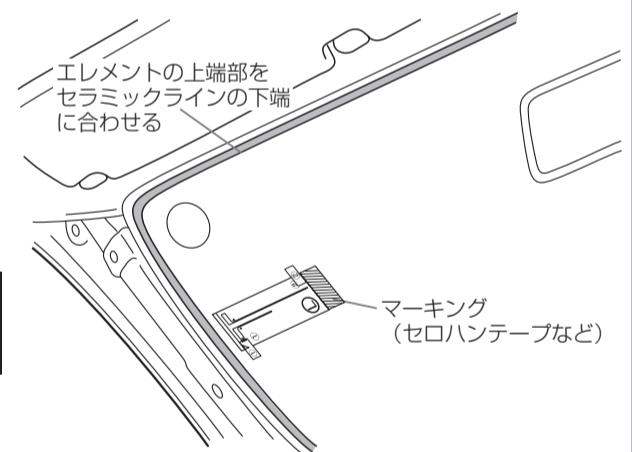
(2) ①のタグ(黄色)を持ってフィルムの①の▲マーク部からゆっくりとセパレーターをはがす。

- フィルムにElementが移っていることを確認しながらゆっくりとはがしてください。
- ※Elementがセパレーター側に残った場合は、フィルムを元に戻してElement上を強くこすり、再度セパレーターをはがしてください。(最初はフィルムに移っていても途中からセパレーターに残る場合もあります。その場合も同様にこすり直してから、はがしてください。)
- セパレーターを急にはがしたりフィルムを強く曲げたりするとElementが断線する恐れがあります。
- ※セパレーターをはがしたあとは、のり面(Element色黒色の方側)に指紋やホコリ等がつかないように注意してください。Elementが貼り付かなくなります。



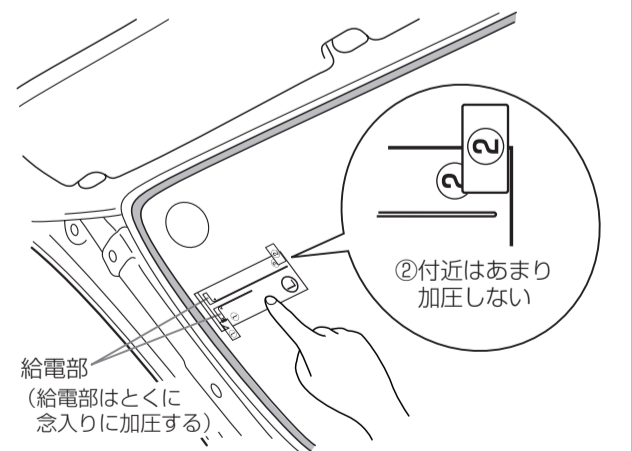
(3) フィルムを貼り付ける。

- 車内から文字(L、①、②)が読めることを確認してからマーキング(セロハンテープ)に合わせて貼り付けてください。
- 空気が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
- Elementはセラミックライン部分にかからないようにしてください。セラミックライン部分には貼り付きません。
- 一度Elementがガラスに貼り付くと貼り直しはできませんのでご注意ください。
- 位置が決まったら、マーキングをはがしてください。



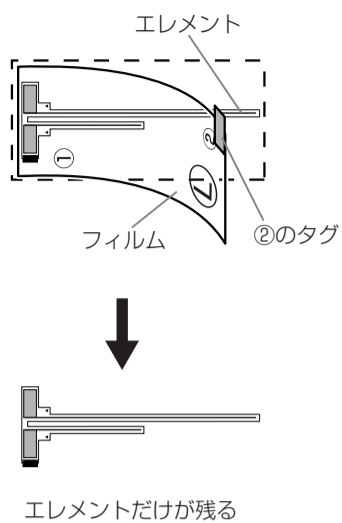
(4) 全面貼り付け後、Element上を強く押さえしっかりと密着させる。

- 給電部は気泡が残りやすいので念入りに加圧してください。
- ※加圧が不足するとフィルムをはがす際にElementがはがれたり断線する恐れがあります。
- フィルムの②のマーク(はくり紙)付近は、次の作業ではがしにくくなるのであまり密着させる必要はありません。(Elementのない部分は極力加圧しない方が後の作業性が良くなります。)
- 加圧はElementを中心にしてください。
- 指での加圧が困難な場合は樹脂ヘラ等を使用してください。
- フィルムをフロントウィンドウに貼り付けた状態で車外から貼付部に気泡が残っていないか確認し、残っている場合は再度その部分を加圧して気泡がなくなることを確認してください。



(5) フィルムを②のタグ(▲マーク部)を持ってゆっくりとはがす。

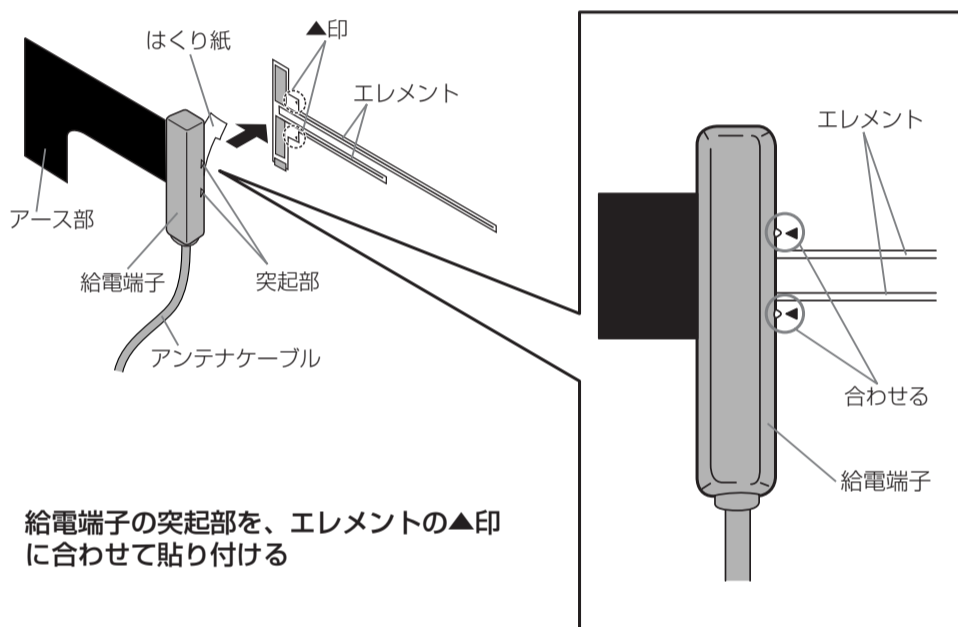
- エレメントがフロントウィンドウに転写されているのを確認しながらゆっくりとはがしてください。
- ※②のタグ以外のところよりはがさないでください。また、勢いよくはがすとエレメントが断線しますのでやめてください。
- ②のタグからゆっくりとはがしてもフィルムと共にエレメントがはがれる(フロントウィンドウに転写されない)場合は、再度フィルムをフロントウィンドウに貼り付け、エレメントを強くこすりなおしてください。
- ※フィルムをはがした後はエレメントの給電部に触れないでください。皮脂により給電部がさびて性能が低下する恐れがあります。
- 貼付完了後には柔らかい布等で上から押さえつけるように加圧してください。このとき、エレメント部を拭くような行為はやめて、押さえつけるだけにしてください。



4 給電端子をエレメントに取り付ける

(1) アンテナケーブルの給電端子をエレメントの給電部に取り付ける。

- 給電端子のはくり紙をはがして、エレメントの給電部の▲印と給電端子の先端の突起部を合わせて取り付けます。



給電端子の突起部を、エレメントの▲印に合わせて貼り付ける

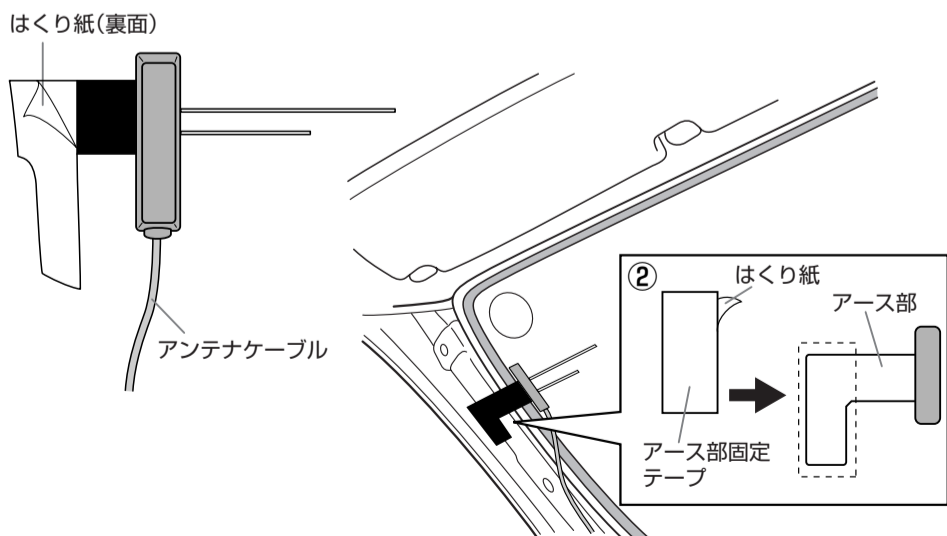
5 アース部を車の金属部に貼り付ける

(1) アンテナケーブルのアース部のはくり紙をはがして車体の金属部へ貼り付ける。

- 車体の金属部の塗装を削る必要はありません。
- サイドウィンドウにアース部がはみ出る場合は、折り曲げてフロントピラー内部に収まるよう市販のテープなどで固定してください。

(2) 付属のアース部固定テープのはくり紙をはがしアース部の上から貼り付けて固定する。

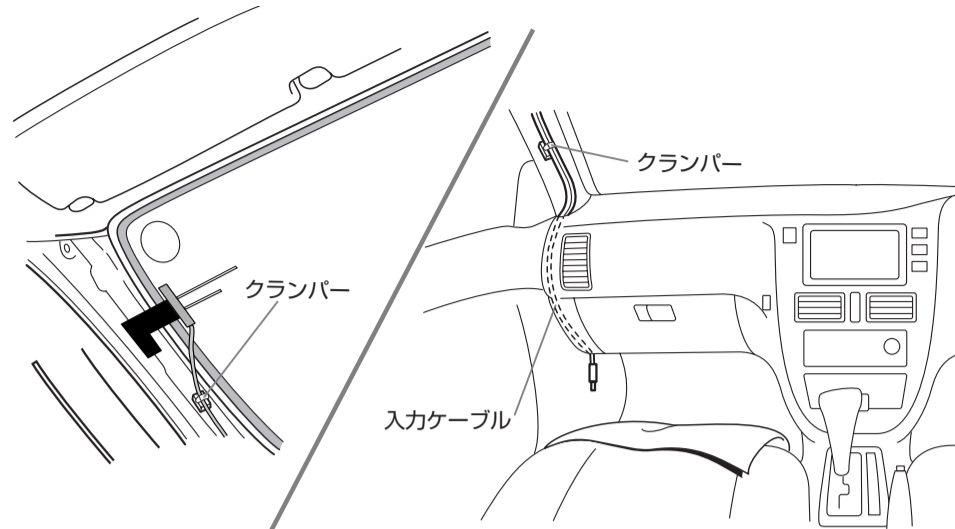
- 金属部への接触が不十分だと受信性能が低下する恐れがありますので、必ず付属のアース部固定テープでしっかりと固定してください。



6 アンテナケーブルを配線する

(1) クランパーでアンテナケーブルを固定しながら配線する。

- フロントピラーを取り付けた際にコードをかみ込まない位置に配線してください。



(2) 内張りを元に戻す。

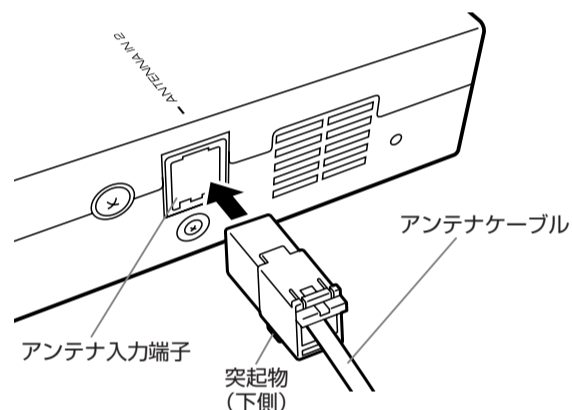
⚠ 警告

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

7 チューナー本体に取り付ける

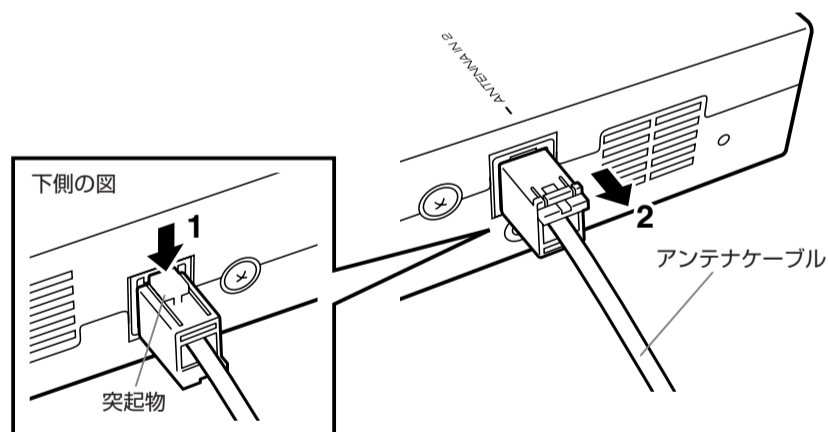
取り付けかた

チューナー本体のアンテナ入力端子へ接続します。



取り外しかた

1の突起部を押したまま、2の方向へ外します。



⚠ 注意

- アンテナ端子はショートさせないでください。

地上デジタル放送を受信しにくい場所

- ビルとビルの間を走行または停車している
- 上空を飛行機が通過または電車が近くを通過しているときなど
- 送電線の付近を走行している場合
- 山かげや木立ちの影など樹木の密集した場所
- トンネルや鉄橋を走行している場合
- 自動車、バイク、高圧線、ネオンサイン等の近く
- ラジオ放送、アマチュア無線局の放送アンテナの近く